

**As**

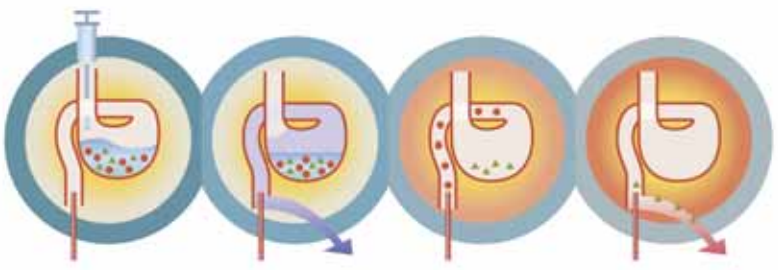
多機能型オートサンプラーCombiPAL と  
胃袋型インサートを備えたGC注入口装置LVI-S200  
を組み合わせたアプリケーションデータ



AISTI SCIENCE **AMR**

**As**

大量注入法




1st Stage 注入  
2nd Stage 濃縮  
3rd Stage 導入  
4th Stage 除去

AISTI SCIENCE **AMR**

**AS** CombiPALを用いることで...

大量注入

- ・大量注入で大きなシリンジを使用する場合、洗浄溶媒が直になくなってしまおうという欠点があるが、CombiPALでは十分な洗浄溶媒量が確保できるため、安心して分析できる。
- ・いろいろな大きさのシリンジサイズに簡単に換えられ、そのシリンジサイズの最大まで注入することが可能である。
- ・新しく設置したLVI-S200の注入口と既存の注入口の両者をそのまま使用することが可能である。



AISTI SCIENCE **AMR**

**AS** CombiPALを用いた大量注入

C:\NOVA\SPEC\DATA\KX070802\070802-26\_SPE 2007/08/03 10:34:43  
FID - KANTO MIX 40+47 0.05ppm 100uL10

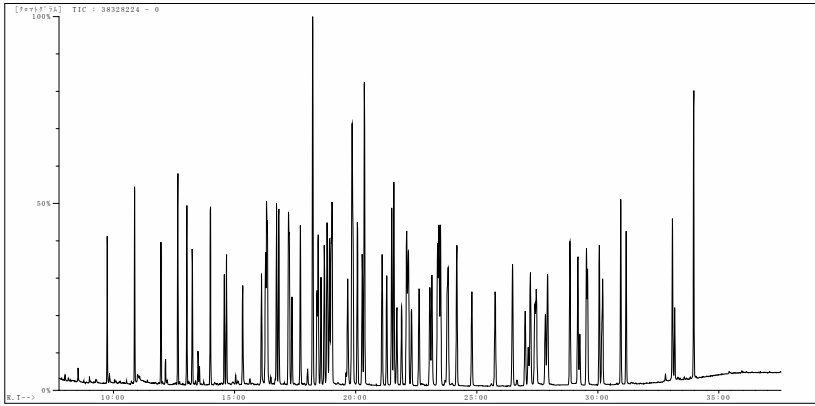
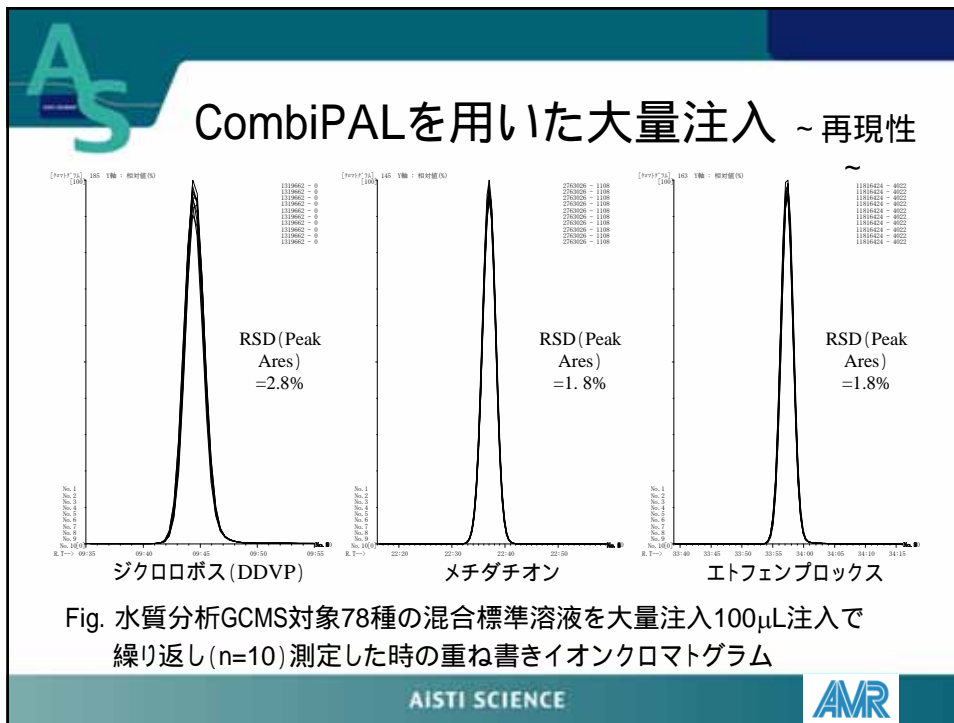


Fig. 水質分析GCMS対象78種の混合標準溶液を  
大量注入100 $\mu$ L注入した時のSCANクロマトグラム


AISTI SCIENCE **AMR**



**AS** CombiPALを用いることで...

### 誘導体化注入

- ・シリンジを自由に移動および操作できるため、インサート内での誘導体化注入が可能



誘導体化試薬を吸引      続けて試料を吸引      注入口へ注入

AISTI SCIENCE      AMR

**AS** 脂肪酸のTMS化

$$\text{R COOH} + \text{BSTFA}$$

脂肪酸                      誘導体化試薬

➡ R COO TMS

   誘導体

AISTI SCIENCE      AMR

